

2011.9.9

放射線治療に関する参考データ

がん対策推進協議会委員 中川恵一

第24回がん対策推進協議会提出資料

《放射線治療の方がいい、がん》

〈西尾正道・北海道がんセンター統括診療部長(当時)〉

1. 放射線治療・放射線化学療法で手術と同じ効果があり、しかも、治療後のQOL(生活の質)がいいというのは、
 - 舌がん、咽頭がん、食道がん、子宮頸部がん、前立腺がん、肛門がん
 - 肺がんは通常の放射線治療では正常な肺の組織が線維化してしまい、肺炎にかかりやすいので注意が必要。しかし、リンパ節への転移がない比較的小さな肺がんは手術のほかにピンポイントの放射線照射も選択肢の一つ。
 - 胃や大腸など腸管のがん、唾液腺のがんなどは、放射線があまり効かないので、手術がお勧め。

《治療実績が手術と変わらない、がん》

〈NHKがん特別取材班〉

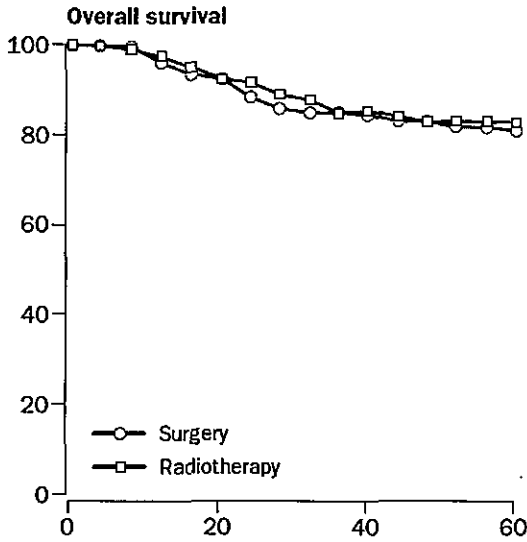
- 子宮頸部がん、舌がん、咽頭がん、肺がん、前立腺がんの早いがん
- 抗がん剤と放射線治療を併用する治療法は、肺がん、食道がんで定着。

Articles

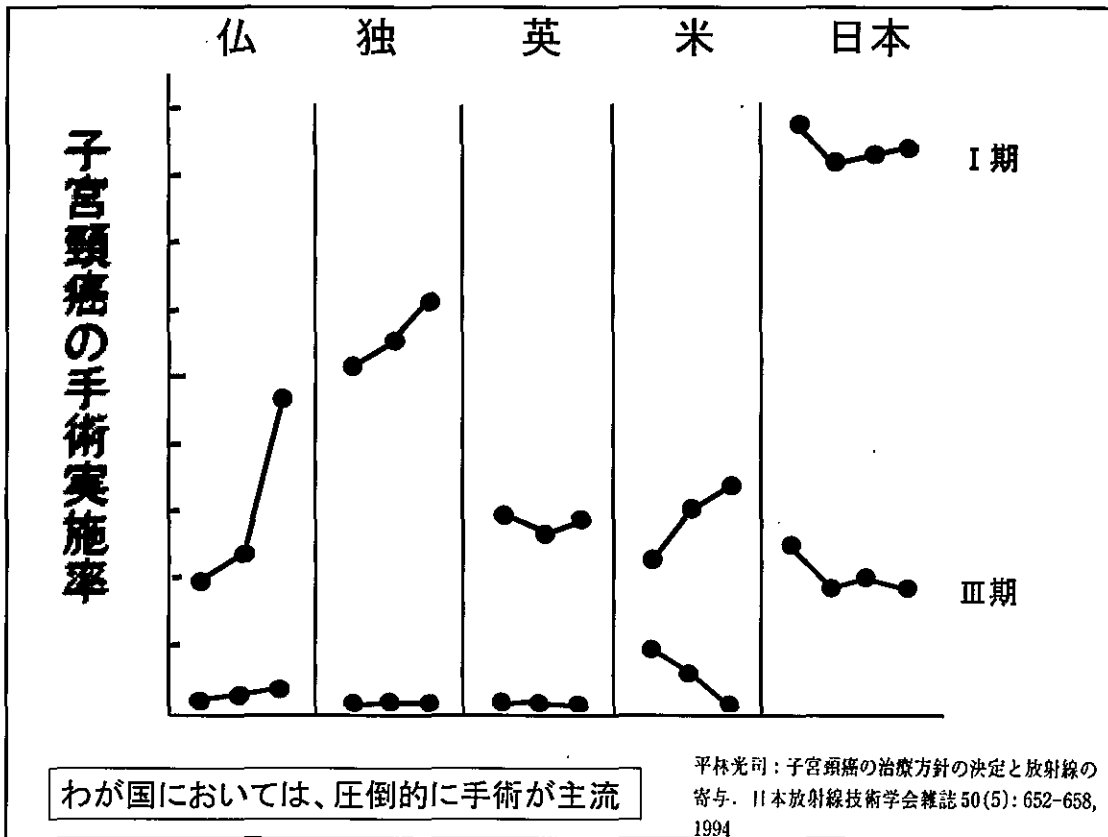
Randomised study of radical surgery versus radiotherapy for stage Ib-IIa cervical cancer

Lancet 1997; 350: 535-40

Fabio Landoni, Andrea Maneo, Alessandro Colombo, Franco Placa, Rodolfo Milani, Patrizia Perego, Giorgio Favini, Luigi Ferri, Costantino Mangioni



早期の子宮頸がんに対する、
手術と放射線治療の無作為比較試験
生存率は全く同じ=世界的コンセンサス

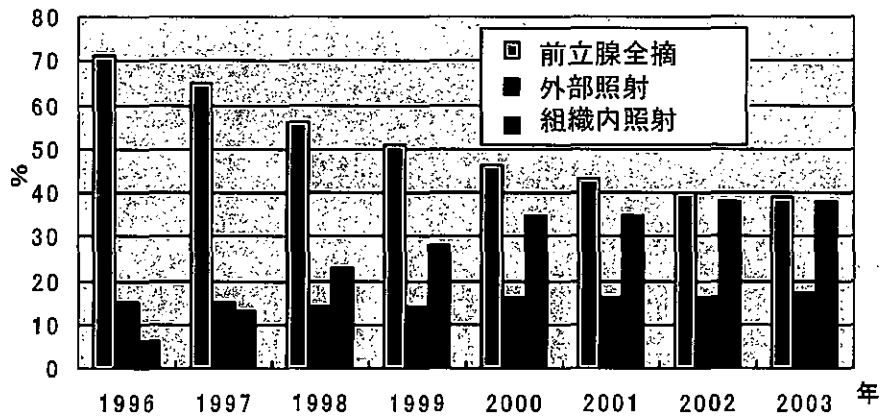


わが国においては、圧倒的に手術が主流

平林光司：子宮頸癌の治療方針の決定と放射線の寄与．日本放射線技術学会雑誌 50(5)：652-658, 1994

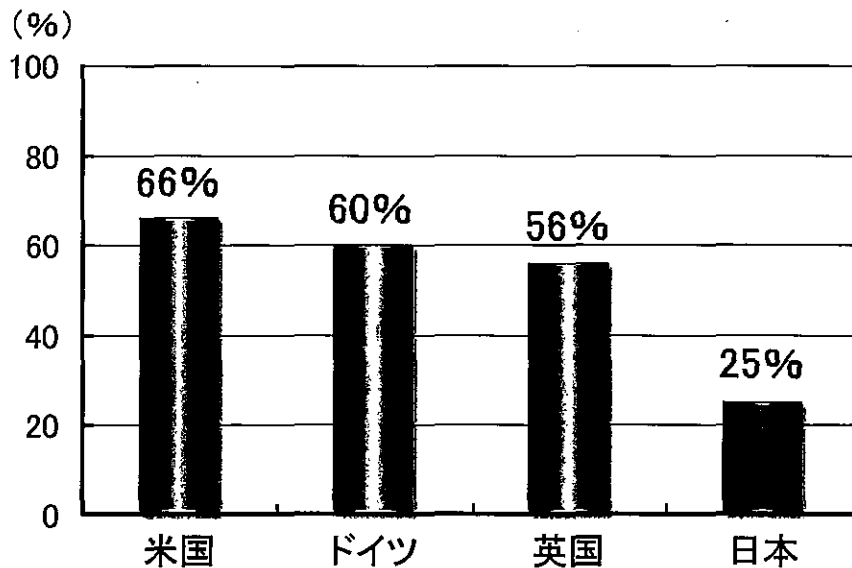
アメリカでの前立腺がん治療の推移

Estimation of Prostate Cancer in USA



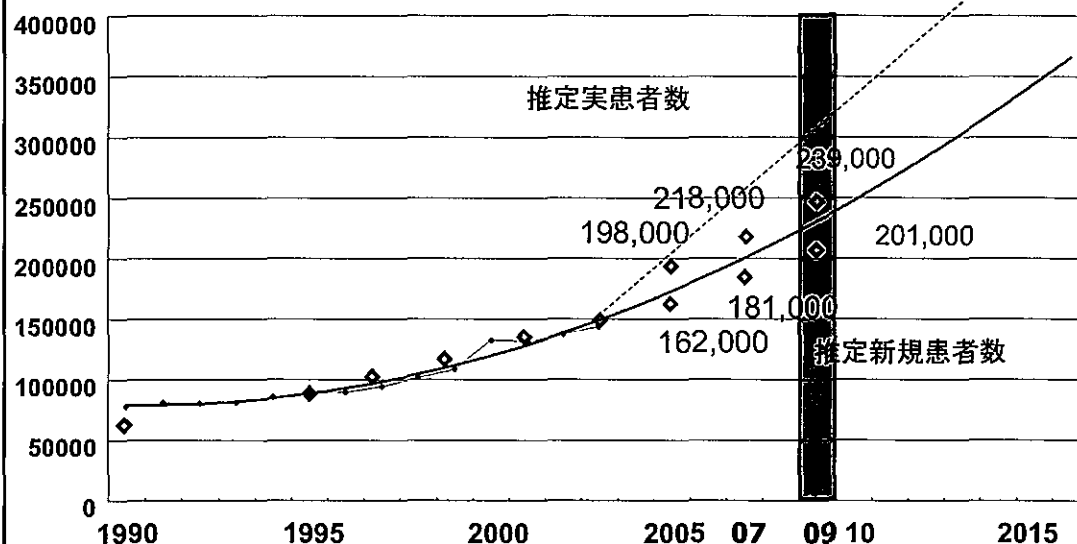
米国においても、放射線治療が増加

がん患者のうち放射線治療(併用も含む)を実施している患者数



第3回がん対策推進協議会提出資料をもとに作成

患者数推移 (PCSによる推定)



※実患者数: 新規患者数+再来患者数

◇ JASTRO構造調査

日米放射線治療の構造比較

	日本	米国
調査年	2009	2004
人口(×10 ⁶)	127.8	293.9
施設数	770	2,010
新規患者数	約 201,000	700,000
がん患者への適用率	27.6%	66%
放射線腫瘍医 (実質man power)	908	約 4,000
放射線腫瘍医数	1,079	—
医学物理士 (実質man power)	152	約 4,000
医学物理士数	261	—

FTE: full time equivalent (週40時間放射線治療専任業務=実質的マンパワーを示す。)

日本放射線腫瘍学会構造調査2009

ASTRO Fact Sheet 2004

8